

## ティーボール審判について

### 審判員の役割

1. 審判は「先生」と考える
  - 尾張 JP スポーツでは、審判員はただ判定するだけではなく、子どもたちに野球を正しく教える役割を担います。
  - 審判員＝先生として、プレイのルールやマナーをやさしく指導します。
2. 注意ではなく「教える」こと
  - 野球に慣れていない子どもたちに対して、怒ったり注意したりするのではなく、教えてあげてを徹底します。
    - ボールを投げる・打つ・走るタイミングを間違えた → 「こうすると安全に打てるよ」とやさしく指導
    - 走者の進塁やタッチプレイがわからない → 「こうすればアウトになるよ」と説明
3. 審判の裁量
  - 幼児や低学年の場合、安全と学びを最優先にプレイを判断する
  - 無理なアウト狙いや混乱が起きそうな場面は、タイム宣告でプレイを止め、子どもたちにルールを教えるから再開する

### 《審判員の心得について》

#### 1. 毅然とした態度で試合に挑む！

#### 2. 大きな声で、大きなジェスチャー！

きわどいタイミングは大きな声で、大きなジェスチャー！

#### 3. 動きながらのジャッジはしない！

必ず止まって(制止する)、アウトの場合は一呼吸おいてボールを確保しているのを確認してからコールする事！

(ティーボールはアウトのタイミングでも落球する 경우가非常多いので)

#### 4. ボールから目を離さない！

#### 5. 試合時間の短縮！

攻守交替は必ず駆け足をさせる。

ベースのゆがみ等はインングの合間などを見て直す。

### お願い

審判員は、試合中自軍の選手に対しての指示は控えること。外野の線審も含む。

両チームの選手を褒めるなどの応援は除く。(ナイスプレイ、ナイスバッティングなど)